

医療法人厚生会（福井厚生病院）

（1）事業所の概要

- 所在地：福井県福井市下六条町201番地
- 創業：病院開設 昭和58年（平成3年 医療法人化）
- 代表者名：理事長 林 譲也
- 業種：医療・福祉
- 従業員数：738名（2021年4月1日現在）
- 事業内容：医療・健康診断・高齢者福祉・地域福祉事業

（2）事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの前提状況】

- ・当法人は病院開設以来、「地域に根差した医療機関」を目指してまいりました。そのため地域一体の健康増進に取り組んでおります。
- ・現理事長就任以降、全職員に対して「第一に自身の健康、第二に家族との時間、第三に患者さん利用者さん、最後に会社のことを大切にしよう!とのメッセージを日々発信しています。

【取組みの目標】

- ・定期健康診断で「要治療」「要精査」判定となった職員への受診勧奨を2017年度から強化。報告率・受診率を5年間で毎年4%ずつ改善させ、2021年度末に報告率91%、受診率78%をめざし、最終的には受診率100%を目指します。

【取組みの内容】（選④内容）

- ・2017年の労働安全衛生委員会で2015年度の健康診断後の2016年度の「要治療」「要精査」判定職員の受診率の低さが課題となり、計画を策定。医師の不養生という言葉通り、医療関係者は自身の健康管理を疎かにしがちなので、健康づくり担当者部門の労働安全衛生委員会の人事課スタッフから本人と上司に何度も促し、健康管理意識の向上を働きかけました。

【その他の取組みの内容】

- ・必⑤内容：全職員対象に、毎月、食事や栄養に関する勉強会を開催。このほかBMI値が適正範囲にない職員にアプリを紹介。一定期間での食生活改善を促す取組を開始。「自分の食生活に関心を持た」「その日の摂取カロリーが分かり時々間食を控えた」等の実施後の反応が見られた。
- ・選⑦内容：クラブ活動への費用補助。一部事業所でのラジオ体操実施。
- ・選⑧内容：乳がん・子宮がん・胃がんの付加検診を法人で費用負担。
- ・選⑨内容：メンタルヘルスチェック後は法人内外の相談窓口を案内。法人内の窓口は公認心理士を担当者とし、必要に応じ産業医を紹介している。
- ・選⑩内容：感染症対策の部門担当者および委員会を設置。インフルエンザワクチン無料接種、各種ワクチン接種費の補助。
- ・選⑪敷地内全面禁煙。産業医による禁煙教室を毎年開催。
- ・2018年1月に理事長名で「健康づくり宣言書」を定め、掲示板やイントラネット、外部ホームページにも公開。
- ・健康づくり担当者として労働安全衛生委員会内の人事課長を選任。
- ・通勤は各自自由に好きな履物で通勤。施設内は感染予防基準に適応したシューズを支給。（基準適応なら職員個人の持ち込みも可）
- ・職員健康診断に週30時間未満のパート労働者も含めて全員実施。
- ・協会けんぽと連携し、特に健康保持に努める必要がある従業員に対しリモートによる保健師による保健指導の機会を提供。

【取組みによる成果Ⅰ（選④内容）】

	要受診精検数/健診数	報告率	受診率
2016年度	172/597名	71.0%	57.6%
2017年度	166/656名	76.9%	66.7%
2018年度	171/691名	89.9%	79.9%
2019年度	159/656名	90.9%	76.9%
2020年度	158/667名	91.2%	79.7%
		（計画より1年度早く目標達成）	
2021年度	162/672名	94.8%	80.5%

【取組みによる成果Ⅱ（地域共生内容）】

- ・2018年度まで15回続いた「第一医師会市民公開講座」の理念を継承し、2020年10月に「健康ふれあいフェア」を新規企画・開催。
- ・2021年10月30日に第2回を「よく分かるみんなの精神医学講座」のタイトルで開催し、地域一体となった健康増進に取り組みました。

当法人医師・看護師・薬剤師・作業療法士・管理栄養士・精神保健福祉士による講演を職員と一般市民対象に開催



（3）今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】

新型コロナウイルス感染症が落ち着き次第、総合的な健康づくりの企画を実施予定です。心身ともに健康である事が一番求められる子育て世代による子育て世代のための健康づくりなど、新しい健康づくり企画の検討を、法人内の委員会が企画しています。

【重点的に取り組む内容】

ワークライフバランス推進の一環で残業時間の削減に取り組んだ結果、一般職員の残業は現在月平均約3時間未満となりました。新型コロナウイルス感染症蔓延の中でも、できる限り家庭を大切にできるよう、残業時間が増えない取り組みを進めていきます。